

## 学長定例記者会見要項

日 時： 令和元年9月5日（木） 11：00～11：45

場 所： 法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

### 発表事項

1. 「やわらかロボ！ゲルハチ公」を超福祉展2019に展示中
2. 米沢キャンパスの囲障改修 旧米沢高等工業学校開校当時の姿に  
～ ブロック塀等の安全対策の一環として ～
3. 日ペルー交流年記念 日秘大学学長会議に参加
4. 日本初！「IR担当者向け実践プログラム」について

### お知らせ

1. 「山形大学あらびきウイナー」が山形県知事賞を受賞
2. 井上ひさし作『父と暮せば』を文化ホールで上演します
3. 農学部公開講座「農学の夕べ」のご案内
4. 化学系学協会東北大会を山形大学で開催  
～最先端の化学に触れる2日間、高校生も参加可能～
5. やまがた夜話の開催について

### (参 考)

- 次回の学長定例記者会見（予定）

日 時：令和元年9月19日（木） 11：00～11：45

場 所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟4階）

## 学長定例記者会見（9月5日）発表者

### 1. 「やわらかロボ！ゲルハチ公」を超福祉展 2019 に展示中

学術研究院 准教授（有機エレクトロニクスイノベーションセンター担当） すずり 硯里 よしゆき 善幸

### 2. 米沢キャンパスの囲障改修 旧米沢高等工業学校開校当時の姿に ～ ブロック塀等の安全対策の一環として ～

学長

こやま 小山 きよひと 清人

### 3. 日ペルー交流年記念 日秘大学学長会議に参加

理事・副学長

やすだ 安田 ひろのり 弘法

### 4. 日本初！「IR 担当者向け実践プログラム」について

学術研究院 教授（企画評価、IR 担当）

あさの 浅野 しげる 茂

令和元年（2019年）9月5日

## 「やわらかロボ！ゲルハチ公」を超福祉展2019に展示中

## 【本件のポイント】

- 「やわらかロボ！ゲルハチ公」を「超福祉展2019」に出展中
- 古川英光教授が、超福祉展のシンポジウムに登壇
- 型取りは「鶴岡ハチ公像」であり、鶴岡市とゲルハチ公展示を調整中



## 【概要】

山形大学 ソフトマターロボティクスコンソーシアムでは、JST OPERA プログラムの支援を受け、人に近いやわらかなロボットの研究を推進している。2019年9月3日～9日に開催される「超福祉展2019」に、「やわらかロボ！ゲルハチ公」を展示中。ゲルハチ公は、やわらかな素材を部分的に用い、内蔵した触覚センサ、カメラの情報からAIによる感情解析を行い、鳴き声・振動・光による反応をすることが特徴である。9月6日にどう展示会で開催されるシンポジウムに古川英光教授が登壇を予定している。ハチ公像の型取りは、渋谷ハチ公像の試作品である「鶴岡ハチ公像」のFRP像をもとに行っているが、現在鶴岡市とゲルハチ公の表敬訪問と展示を協議している。

## 【やわらかロボ！ ゲルハチ公】

山形大学 ソフトマターロボティクスコンソーシアム (SOFUMO) では、やわらかな素材で構成されるソフトマターロボティクス (SMR) の研究を、JST OPERA プログラムの支援を受け、複数の研究室・企業の連携により推進している【説明3】。SMRは人と近いやわらかな素材を用いていることから、人の生活に近いサービスにおいて高い付加価値を有していることが特徴である。

今回、福祉分野の展示会である「超福祉展2019」（2019年9月3～9日渋谷）【説明1】に、「やわらかロボ！ゲルハチ公」（大きさ：幅35cm×奥行き100cm×高さ86cm）を展示する。渋谷のシンボルの一つである「忠犬ハチ公像」を、SMRの技術を用い再現する。人が触りたくなる「新しいコミュニケーションの創出」がテーマである。やわらか素材を頭部・前足部に配置し、心地よい手触りを達成している。また頭部には触覚センサを複数埋め込み、前面部にはカメラを搭載しており、これら情報をもとにAI（人工知能）による感情解析を行うことで、鳴き声や振動、発光により、各種表現を行うことができることが、大きな特徴である。

今回作製する「やわらかロボ！ゲルハチ公」は渋谷ハチ公像ではなく、山形県鶴岡市に所存する渋谷ハチ公像の試作品である「鶴岡ハチ公像」を模倣した。鶴岡ハチ公像を型取ったFRP像を所有する鶴岡ハチ公像保存会（会長 高宮宏様）の協力得て、本ゲルハチ公像の作製を進めた【説明2】。



## 【古川英光教授 超福祉展シンポジウムに登壇】

超福祉展が開催するシンポジウムにSOFUMO会長である山形大学 古川英光教授が、登壇する。

9月6日 17:00-18:30 都市開発とダイバーシティの調和！～ユニバーサル未来社会推進協議会渋谷超福祉ワーキンググループ2019～ 場所：渋谷ヒカリエ8階 8/

<http://www.peopledesign.or.jp/fukushi/symposium/#sep06-04>

## 【ゲルハチ公を鶴岡市に展示・計画中】

鶴岡ハチ公像から型どったゲルハチ公が鶴岡市を表敬訪問し、期間を定めて展示することを鶴岡市と現在計画している。

お問い合わせ

山形大学 ソフトマターロボティクスコンソーシアム 事務局 内藤 修広

TEL 0238-29-0566 メール kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

## 【説明1】超福祉展2019

正式名称： 2020年、渋谷。超福祉の日常を体験しよう展  
開催期間： 2019年9月3～9日  
場所： 東京 渋谷ヒカリエ8階8/ 他渋谷区内各所  
主催： NPO法人 ピープルデザイン研究所（代表理事 須藤シンジ）  
共催： 渋谷区、他  
後援： 文部科学省、他  
入場無料、（昨年度来場者数 57,800人）



## 【説明2】「渋谷二代目ハチ公像」と「鶴岡ハチ公像」、山形大学「ゲルハチ公」の繋がり

山形県藤島町役場（現・鶴岡市藤島庁舎）のロビーには、「秋田犬の石膏像」が展示されていた。昭和60年の竣工記念として贈られたものであったが、ある日、鶴岡市藤島の薬剤師・高宮宏さんは、台座に「土1947」と刻まれていることに気がつく。調べると「土」とは、彫刻家の安藤士（たけし）さんのこと。東京・渋谷駅前にある「ハチ公像」の作者であった。

「ハチ公像」は、昭和9年に彫刻家・安藤照さんが制作したが、戦争末期の金属回収で像は撤去、溶解。戦後、安藤さんの息子である土さんが同じ場所に再建した。その時の「試作品」として制作されたものが、この藤島町役場の「秋田犬の石膏像」だった。

米軍機の空爆で安藤照さんは亡くなり自宅とアトリエは壊滅したが、「ハチ公像」の再建を望む声が高まり、被害を免れた家の一部を借りて土さんは「試作品」の石膏像を制作。その後、その家を買った旧藤島町出身の映画制作会社役員から鶴岡市内の旅館、旧藤島町の建設会社会長に引き取られ、旧藤島町に寄贈された。

昭和7年に「今は世になき主人の帰りを待ち兼ねる七年間」という見出しで、東京朝日新聞に「ハチ公」を紹介し世に広めたのも、鶴岡出身の動物愛護家・斎藤弘吉さんである。

藤島町役場の「秋田犬の石膏像」が「ハチ公の試作品」であることをつぎとめた鶴岡市藤島の薬剤師・高宮宏さんは、「鶴岡ハチ公像」が鶴岡にたどり着いた経緯を広く知ってもらい、「ハチ公」を世に広めた鶴岡出身の斎藤弘吉さんの功績を顕彰し動物愛護の精神を呼び掛けながら鶴岡ハチ公像の恩返しの物語を全国に広めたいと、2006年に「鶴岡ハチ公像保存会」を立ち上げた。

今回お借りした「鶴岡ハチ公像」は、石膏像は年月が経ち脆く移動できないため、保存会が型を取りFRP（繊維強化プラスチック Fiber Reinforced Plastics）素材を使って制作したものである。

なお、現在、「鶴岡ハチ公像（石膏）」は、JR鶴岡駅構内に展示されている。

これら「ハチ公」と「山形・鶴岡」の縁を感じ、今回、東京・渋谷で開催される「超福祉展」で山形大学が展示するソフトロボットの型は、渋谷ハチ公像ではなく、「鶴岡ハチ公像」で制作することとなった。

（「鶴岡ハチ公像」は渋谷ハチ公像に比べ、前足の間隔が5センチほど狭く、全体的にひとまわり小さなものになっている）



安藤士さんと高宮宏さん  
（安藤さんからハチ公像「試作品」の経緯を聞く高宮さん）



JR鶴岡駅構内に展示されている  
「鶴岡ハチ公像」（石膏）



「鶴岡ハチ公像」から型をとって作った「FRP像」  
（幅35cm×奥行100cm×高さ86cm）高宮さん所蔵

「鶴岡ハチ公像（FRP）」所蔵

鶴岡ハチ公像保存会 会長

高宮宏（たかみや ひろし）さん

TEL: 0235-64-2514 携帯: 090-6458-4112

お問い合わせ

山形大学 ソフトマターロボティクスコンソーシアム 事務局 内藤 修広

TEL 0238-29-0566 メール kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

### 〔説明3〕 ソフトマターロボティクスコンソーシアム (SOFUMO)

山形大学では、硬い構造物からなる従来のロボットとは一線を画する「柔らかなロボット」の実現に向け、新領域「ソフトマターロボティクス」を提案している。人と近い柔らかさを持つロボットは、その柔軟性から対人安全性が高いだけでなく、触り心地の良さによる快適性や、生分解性による低環境負荷の実現も可能であり、従来のロボットには無い付加価値を有している。人が接する可能性のある産業用・福祉用ロボットだけでなく、回収を必要としない安価な検査・探査ロボットへも応用が期待される。ソフトマターロボティクスの達成には、柔らかな構造体に加えて、柔らかなアクチュエータ、センサ、各種デバイス、電池等の技術の高度なインテグレートが必要である。本プロジェクトでは、これら関係研究者と参画企業によりコンソーシアムを形成し、各技術の高度化と集積化、デモンストレーションを通じた柔らかなロボットのユース提案など、社会実装に向けた取り組みを行っている。

本研究は、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) の支援を受け推進している。



#### くらげ型ロボット

柔らかなセンサ、発光素子、アクチュエータが集積されたくらげロボット



#### ミミズ型ロボット

内径 13mm の配管を進むことが可能な検査用ミミズ型ロボット

お問い合わせ

山形大学 ソフトマターロボティクスコンソーシアム 事務局 内藤 修広

TEL 0238-29-0566 メール kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

# ゲルハチ公 やわらかロボ!

山形大学 SOFUMO は  
やわらかいロボットを  
研究しています!

やわらか部分を  
触ってください!  
鳴き声や振動・光で  
こたえるよ

頭と前足は  
心地よい  
やわらか素材!

触覚センサと映像か  
ら人工知能で  
感情解析するんだ

渋谷のシンボル“ハチ公像”  
を、山形大学が取り組む  
「やわらかロボット」でプ  
ロデュースしました。や  
わらかロボットは人との  
親和性が高く、福祉分野  
での応用も期待されていま  
す。やわらかハチ公を撫でて、  
触って、新しいロボットと福祉の  
将来に期待してください!



## 「渋谷ハチ公像」 と「鶴岡ハチ公像」

「やわらかロボ!ゲルハチ公」の原型は「鶴岡ハチ公像」。渋谷ハチ公像の作者が1947年に「試作品」として制作したものです。長年、藤島町役場(現・鶴岡市藤島庁舎)の片隅に「犬の石膏像」として飾られていましたが、同町の薬剤師・高宮宏さんが調査し判明しました。「忠犬ハチ公」を新聞で紹介し世に広めた動物愛護家の斎藤弘吉さんも鶴岡市出身であることから「鶴岡ハチ公像保存会」が発足。今回私たちはこの保存会が所有する FRP 製レプリカから再現しました。「やわらかロボ!ゲルハチ公」に触れながら「ハチ公」と「山形県」のつながりも感じ取っていただけたらと思います。



## SOFUMO と共創しませんか?

山形大学 有機エレクトロニクスイノベーションセンター  
事務局 Tel 0238-29-0566,  
kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

JR 鶴岡駅の構内に  
展示されている  
「鶴岡ハチ公像」(石膏)



# やわらかなロボットってなあに？

## SOFUMOはソフトなモノ・コトでロボット開発をリードします

山形大学では、従来のロボット分野とは一線を画す「ソフトマターロボティクス」という概念を創造し、JST産学一体となり新領域の研究に挑んでいます。産学共創プラットフォーム事業(OPERA)の支援を受け、新たな基幹産業育成の一端を担うべく、あらたに「ソフトマターロボティクスコンソーシアム」を形成しました。

### 有機材料の極限機能創出・社会システム化共創コンソーシアム

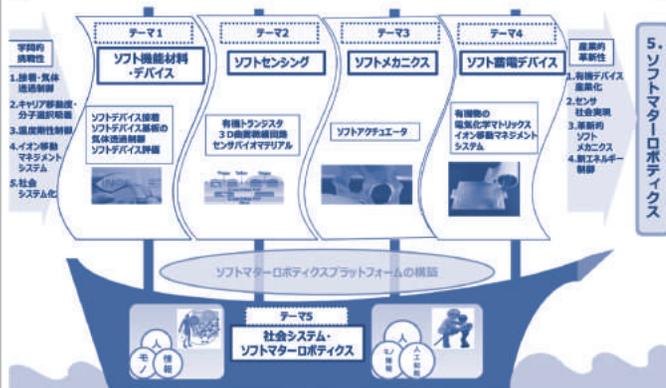
有機材料の極限機能創出と社会システム化をする基盤技術の構築及びソフトマターロボティクスへの展開

「やわらかロボット新時代の始まりを見逃すな！」

幹事機関	山形大学	領域統括	おおば よしひろ 大場 好弘	●役職	理事・副学長
参画機関 (大学等)	山形県立米沢工業大学、九州大学、産業技術総合研究所、鶴岡工業高等専門学校			コンソーシアム 概要	超スマート社会Society5.0の実現に向けては、柔らかく・優しく・作りやすい・エネルギーがかからない・どこでも電気を蓄えられる等の機能を有する有機材料が必須となります。分子創製の無限の可能性を真に活用し、(1)ソフト機能材料・デバイス (2)ソフトセンシング (3)ソフトメカニクス (4)ソフト蓄電デバイスの4テーマで、有機材料の極限的な機能創出の学問的な挑戦をすることで4分野それぞれの革新的な産業の新展開を先導します。また、これらの技術を高度にインテグレートした新領域「ソフトマターロボティクス」分野を創造します。
参画機関 (民間企業)	帝人(株)、(株)セリアエンジニアリング、竹田印刷(株)、東京プロセスサービス(株)、(株)モレスコ、(株)イデアルスター、関東化学(株)、(株)ユー・コーポレーション、日立化成(株)、東ソー(株)、アルケマ(株)、三菱ケミカル(株)、(株)荘内銀行、三菱ガス化学(株)、(株)日本触媒、旭化成メディカル(株)、日油(株)、住友ゴム工業(株)、(株)クレハ、三井化学(株)、(有)芳尾電気化学研究所、(株)山形銀行、セパレータデザイン(株)、弘栄設備工業(株)、江崎グリコ(株)、第一工業製菓(株) (計26社)				

ウェブサイト(Web) ▶ <https://opera.yz.yamagata-u.ac.jp/>

#### 有機材料の極限機能創出と社会システム化をする基盤技術の構築及びソフトマターロボティクスへの展開



#### トピックス

##### 研究開発の成果

##### 「クラゲ意識ロボット」

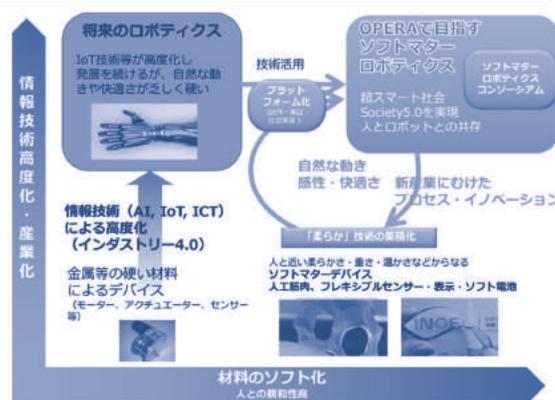
駆動方法：バイオメタル (BMX)



- ボディの半の部分に内蔵した PVDF 圧電センサが接触を感知すると、同部分の OLED が点灯する。
- ボディにはシリコンを使用し、3D ゲルプリンタによる立体成形を目指す
- ジュール熱により自動する形状記憶合金アクチュエータ「バイオメタル」を使用

#### 社会実装を目指す新たな価値 (プロジェクト目標)

山形大学では、硬い構造物からなる従来のロボットとは一線を画する「柔らかなロボット」の実現に向け、新領域「ソフトマターロボティクス」を提案しています。人と近い柔らかさを持つロボットは、その柔軟性から対人安全性が高いだけでなく、触り心地の良さによる快適性や、生分解性による低環境負荷の実現も可能であり、従来のロボットには無い付加価値を有しています。人が接する可能性のある産業用・福祉用ロボットだけでなく、回収を必要としない安価な検査・探査ロボットにも応用が期待されます。ソフトマターロボティクスの達成には、柔らかな構造体に加えて、柔らかなアクチュエータ、センサ、各種デバイス、電池等の技術の高度なインテグレートが必要です。本プロジェクトでは、これら関係研究者と参画企業によりコンソーシアムを形成し、各技術の高度化と集積化、デモンストレーションを通じた柔らかなロボットのユース提案等、社会実装に向けた取り組みを行っています。



令和元年（2019年）9月5日

## 米沢キャンパスの囲障改修 旧米沢高等工業学校開校当時の姿に ～ ブロック塀等の安全対策の一環として ～

### 【本件のポイント】

- 米沢キャンパスの重要文化財 旧米沢高等工業学校本館前の石塀について、開校時の塀のデザインで改修工事を実施
- 地震発生時の学生等の安全確保のため、国の方針を踏まえ、山形大学で進めてきたブロック塀等の安全対策の一環
- 平成30(2018)年6～7月に点検を実施し、対策が必要とされた学内の14カ所の安全対策が完了



### 【概要】

山形大学では平成 30(2018)年 6 月大阪府北部を震源とする地震で危険性が指摘されたブロック塀等の安全確認のため、平成 30 (2018) 年 6～7 月に点検を実施しましたが、米沢キャンパスの旧米沢高等工業学校本館前に設置されていた石塀についても、倒壊の危険があったことから、対策を講じる必要があると判断しました。

改修にあたって、同本館は重要文化財として市民にも親しまれていることから、米沢キャンパスの教員らからの意見等を踏まえ、開校当時（明治 43 年）の姿を再現する形での施工とし、今年の 1 月から工事を進めてきました。

なお、この工事が完了したことで、安全点検で対策が必要とされた学内の 14 カ所について、ブロック塀等の安全対策がすべて完了しました。

### 【山形大学（米沢）環境整備（囲障）改修】

○整備目的：本事業は、地震発生時の学生等の安全確保のため、安全性に問題のある組積造の撤去・再設置を行い、安全対策を図ることを目的とする。なお、再設置にあたっては旧米沢高等工業学校本館前であることを踏まえ、開校当時の囲障を再現する形での施工とした。

- 整備内容：①既存の組積造の塀を撤去し、鉄筋コンクリート造の塀に改修。  
②石部は柔らかい雰囲気のある錆御影石を採用。  
③フェンス部は校舎や周囲の色調とバランスの取れた緑を採用。  
④道路側から建物全体を眺望できるよう中央部に開口部を設けた。

○工期：平成 31(2019)年 1 月～令和元（2019）年 8 月

○事業費：約 6,000 万円（平成 30 年度補正予算）



大正 2 年開校記念式時の写真

お問い合わせ  
施設部施設整備課長 大平隆人  
TEL 023-628-4090

配布先：学長定例記者会見参加報道機関



正面（改修後）



正面（改修前）



西側（改修後）



西側（改修前）



東側（改修後）



東側（改修前）

令和元年（2019年）9月5日

## 日ペルー交流年記念 日秘大学学長会議に参加

### 【本件のポイント】

- 8月23日にペルーのサンマルコス大学で開催された日ペルー交流年記念日秘大学学長会議に日本から12大学、ペルーから12大学が参加
- 日ペルー交流年（日本人ペルー移住120周年）行事の一環として開催
- 両国の大学が持続可能な開発目標（SDGs）への大学の貢献に向けてディスカッションを行い、共同宣言を発出



写真提供：在ペルー日本大使館

### 【概要】

8月23日、日ペルー交流年（日本人ペルー移住120周年）行事の一環として、サンマルコス大学（ペルー、リマ）で開催された、日ペルー交流年記念日秘大学学長会議に本学から安田弘法理事・副学長が参加しました。双方の大学の学長、副学長等が一同に会し、持続可能な開発目標等の社会の課題解決に向けた大学の役割や、両国大学間の研究教育協力、学術交流の更なる深化の展望について意見交換し、協働のきっかけを作ることを目的に開催されたものです。

山形大学とペルー共和国とは、ナスカ研究における同国文化省との協定をはじめ、学生交流プログラム、カトリカ大学における海外サテライト設置など、かねてから深い関わりを持っています。今回の会議では、両国の大学が持続可能な開発目標（SDGs）への大学の貢献に向けてディスカッションを行い、共同宣言を発出しました。山形大学としても、今後さらなる交流を推進し、両国の発展、SDGsの達成にむけた研究活動や社会との連携に貢献してまいります。

### 【日ペルー交流年記念 日秘大学学長会議 Japan-Peru University Rector's Summit】

開催日：2019年8月23日（金）

場 所：サンマルコス大学文化センター

目 的：双方の大学の学長、副学長等が一同に会し、持続可能な開発目標等の社会の課題解決に向けた大学の役割や、両国大学間の研究教育協力、学術交流の更なる深化の展望について意見交換し、協働のきっかけを作る

テーマ：「SDGs 実現に向けた日本とペルーの大学の役割」－大学における多様性・多文化共生と国際化-

参加機関（日本）：山形大学、信州大学、筑波大学、東京大学、東京農工大学、広島大学、琉球大学、神戸市外国語大学、東京理科大学、東洋大学、東京都市大学、創価大学、日本学生支援機構（日本側事務局は筑波大学）

お問い合わせ

教育・学生支援部国際交流課 今野

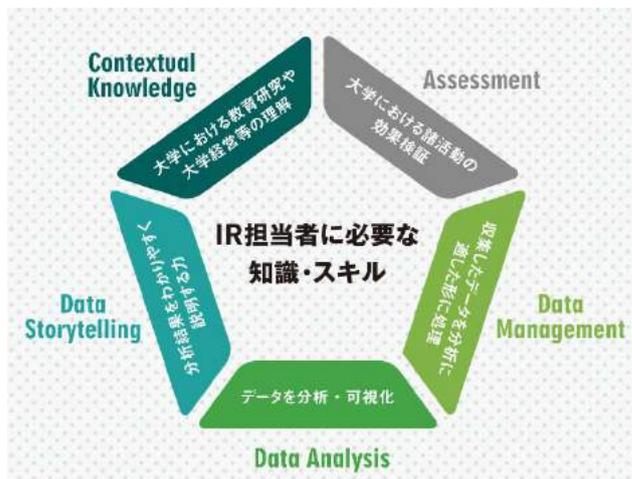
TEL TEL 023-628-4118

令和元年（2019年）9月5日

## 日本初！「IR担当者向け実践プログラム」について

### 【本件のポイント】

- IR（Institutional Research：客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する機能のこと）に特化した「日本初」の履修証明プログラム※。
- 到達目標は「IR担当者に必要な要素（高等教育機関を取り巻く文脈、効果検証・アセスメントの手法、データ・マネジメント、データ分析、情報提供）の基礎的な知識・スキルの習得」。
- 2020年5月に東京都内で、11月に山形大学で開講し、履修者の利便性に配慮するとともに、業務の都合等で出席できない受講回を柔軟に履修することが可能。



### 【概要】

国内外を問わず、高等教育機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。特に客観的なエビデンスに基づく大学経営、そして大学の最も重要な使命である教育について、学習成果を測定・把握し、自ら質保証することが強く求められるようになっていきます。

こうした要請に対応するため、山形大学では、国立大学で初めてエンrollment・マネジメント（志願一合格一入学一在学一卒業一同窓までを一貫して支援すること）に取り組むなど、2007年から学内外のデータを収集・分析し、IR業務に活用してきました。その取り組みの中で蓄積したノウハウ等を基に、次世代形成・評価開発機構 IR 部門（Office of Institutional Research and Effectiveness: OIRE）が中核となって、本履修証明プログラムを提供します。

### 【プログラムの特色】

- ・ Data Management：汎用ソフト（エクセル、アクセス）を用いた学校基本調査等の公開情報の活用
- ・ Data Analysis：入学者動向等、昨今の大学を取り巻く現状把握につながる分析の手法
- ・ Data Storytelling：可視化ツールを用いた動的なレポート作成を通じた効果的な情報の提供

### 【今後の予定】

- ・ 2019年： 12月→履修証明プログラム説明会（於：東京）及び願書受付開始
- ・ 2020年： 3月→履修者選考、5月→プログラム開始

お問い合わせ  
学術研究院教授（企画評価、IR担当） 浅野 茂  
TEL 023-628-4189 メール asano@cc.yamagata-u.ac.jp

※参考情報

履修証明プログラムとは、2007年の学校教育法の改正で新設された「履修証明制度」に則り、主に大学や大学院、生涯学習を行う教育機関において設置された特定の教育プログラムを履修し、規定された科目群を単位取得するなど、プログラムの定める要件を修了することによって履修証明書の発行を受けられるもの。

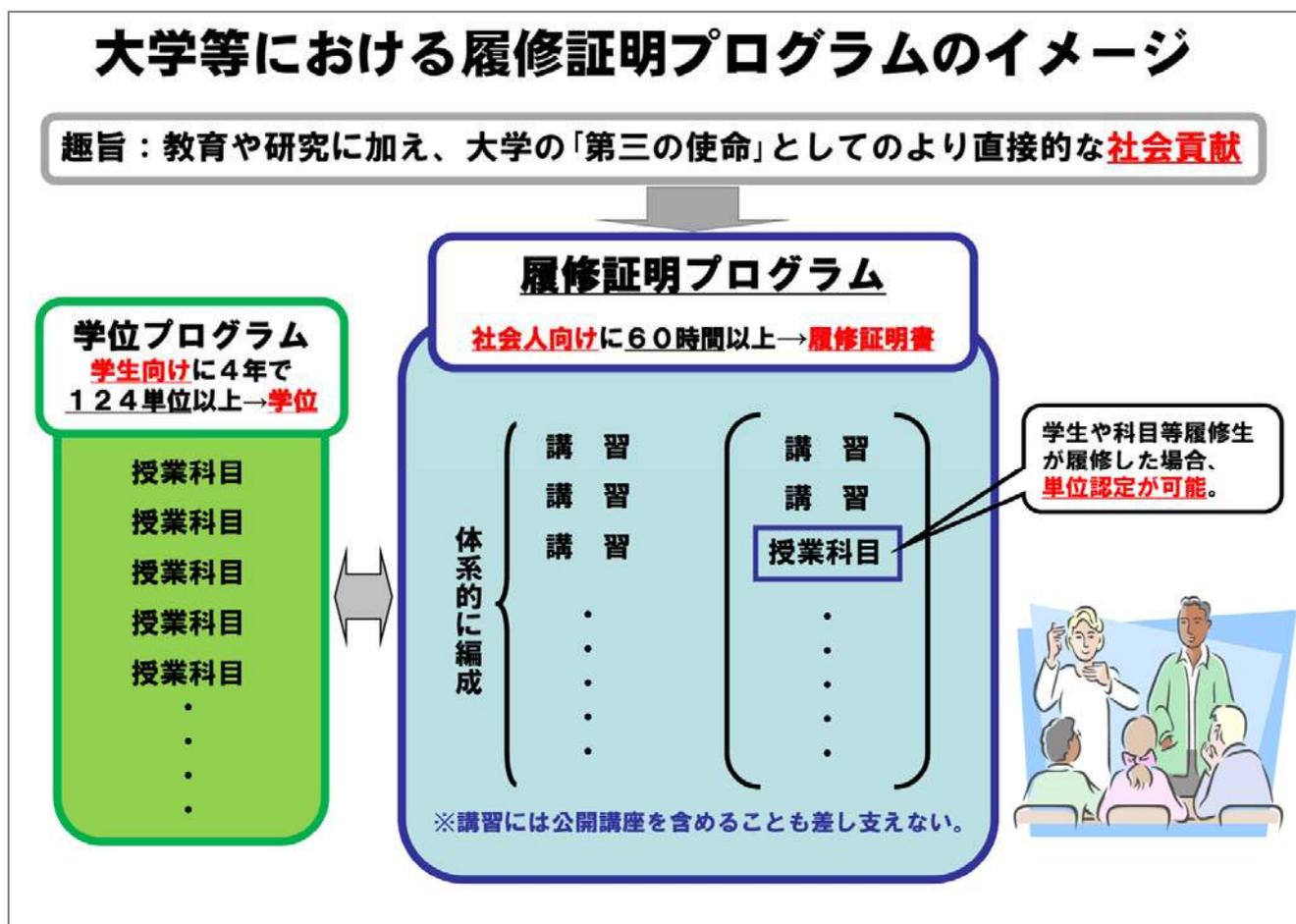
○対象者：社会人（当該大学の学生等の履修を排除するものではない）

○内容：大学等の教育・研究資源を活かし一定の教育計画の下に編成された、体系的な知識・技術等の習得を目指した教育プログラム

○期間：目的・内容に応じ、総時間数60時間以上で各大学等において設定

○証明書：プログラムの修了者には、各大学等により、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した履修証明書を交付

○質保証：プログラムの内容等を公表するとともに、各大学等においてその質を保証するための仕組みを確保



※詳細は、文部科学省HP ([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)) を参照願います。

# IR

I nstitutional R esearch

## 担当者向け 実践プログラム 開講



山形大学 学長  
小山 清人  
Kiyohito Koyama

国内外を問わず、高等教育機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。特に客観的なエビデンスに基づく大学経営、そして大学の最も重要な使命である教育について、自ら質保証することが強く求められるようになってきました。こうした要請に対応するため、山形大学では、国立大学で初めてエンrollment・マネジメントに取り組む等、2007年から学内外のデータを収集・分析し、IR業務に活用してきました。その取り組みの中で蓄積したノウハウ等を基に、このたび大学関係者等を対象とした「IR実践プログラム」を開講することといたしました。多くの方がこのプログラムにご参加くださり、日本の高等教育の更なる発展に繋がることを期待しています。

※IR (Institutional Research)とは…客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する機能のこと

### [2019年12月より第1期生募集受付開始]

募集に係る詳細情報は、下記のホームページで2019年11月頃公表予定です。

- 開講期間：2020年5月～10月（毎月1回土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施）
- 開講場所：山形大学東京サテライト（東京都港区芝浦3-3-6 CIC 609号室）
- 募集人数：7名程度（書類審査等による選考あり）

→ 第2期は2020年11月より山形大学にて開講予定（詳しくは裏面をご確認ください）

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課  
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL：023-628-4063 FAX：023-628-4144  
E-mail：ir@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://ir.yamagata-u.ac.jp>



# IR担当者向け実践プログラム 4つのポイント

## 01

### 日本初のIR履修証明プログラム

IRに特化した日本初の履修証明プログラムです。修了者には、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

## 02

### 東京と山形の2会場で開講

東京都内(前期)及び山形大学(後期)の2会場で開講します。内容は同一ですので受講しやすい場所をお選びいただけます。

## 03

### 前期と後期の年間2サイクル開講

前期と後期の2サイクル開講により、業務の都合等で出席できない受講回があっても、柔軟な履修が可能です。

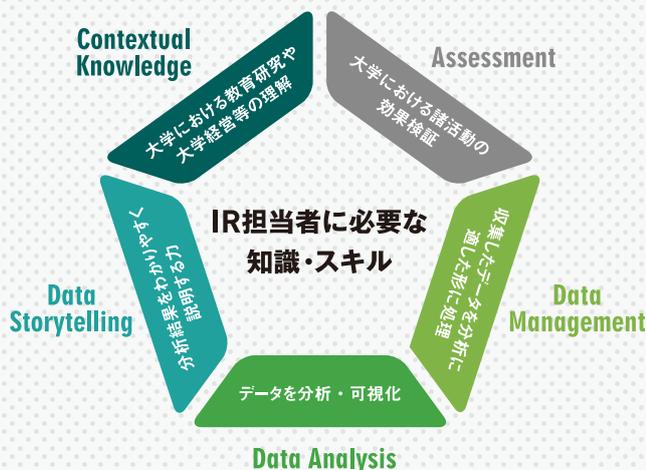
## 04

### 現場経験豊富な講師陣による指導

国内外の様々な高等教育関係機関で経験を積んだ講師陣となっています。より現場に即した指導が受けられます。

## ■本プログラムの到達目標

本プログラムでは、IR担当者に必要な5つの要素(高等教育機関を取り巻く文脈、効果検証・アセスメント、データマネジメント、データ分析、情報提供)の基礎的な知識・スキルの習得を目標としています。



## ■カリキュラム内容

IRに係る基本的な考え方を学ぶ「IR入門」、活用領域を扱う「IR応用」、データ分析及びBIツールの活用を学ぶ「データマネジメント&分析」に加え、これらの知識・スキルを実践する「IR実践」の4分野で構成します。

■総時間数：60時間(加えて、授業外課題等があります)

■受講対象者：大学関係者

■受講期間：6ヶ月

(土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施)

	期間	場所
第1サイクル(前期)	5月～10月(毎月1回)	東京都内(CIC)
第2サイクル(後期)	11月～2月(約3週おきに1回)	山形大学(小白川キャンパス)

※各サイクルの募集人数は7名程度

【受講料】※2020年度受講者限定

第1サイクル(前期)：150,000円(予定額)

第2サイクル(後期)：100,000円(予定額)

## STAFF



ディレクター&主担当講師(山形大学 学術研究院 教授)  
**藤原 宏司** Koji Fujiwara

専門はIRと応用統計学。米国の大学でIR及び評価対応業務に従事。2016年8月から現職。現職ではBIを活用したIRシステムの構築等を担当。フロリダ州立大学大学院IR履修証明プログラム修了。



コーディネーター&主担当講師(山形大学 学術研究院 教授)  
**浅野 茂** Shigeru Asano

専門は経営学。大学及び評価機関双方で大学評価関連業務に従事。2015年4月から現職。現職では大学評価、IR及び質保証業務を担当。学外では中教審教学マネジメント特別委員会委員等として活動。



アドバイザー&副担当講師(明治大学 教学企画事務室)  
**山本 幸一** Koichi Yamamoto

大学院の専攻は公共経営学、政策評価。大学職員として中長期計画、大学評価、IRオフィスの設計、BIを用いたレポート作成を担当。学外では文部科学省や大学基準協会の各種調査活動に従事。



アドバイザー(大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 特任教授)  
**川嶋 太津夫** Tatsuo Kawashima

専門は比較高等教育論。大学における学習成果測定の必要性をいち早く提唱。現職では高大接続、入試改革等の調査研究及び支援業務に従事。学外では中教審大学教育部会臨時委員等として活動。

令和元年(2019年)9月5日

山形大学

\*詳細は別添の資料をご覧ください。

## 1. 「山形大学あらびきウイナー」が山形県知事賞を受賞

農学部で2016年度から取り組んでいる寄附講座「食料自給圏（スマート・テロワール）形成講座」でのその成果品の一つ「山形大学あらびきウイナー」が、「やまがたふるさと食品コンクール」において山形県知事賞を受賞しました。

## 2. 井上ひさし作『父と暮せば』を文化ホールで上演します

川西町出身の作家井上ひさしの有名作『父と暮せば』の上演が、川西町演劇研究会主催により山形大学文化ホールで行われます。山形大学の学生たちの学びを目的とするほか、文化ホールへ多くの市民にも足を運んでいただいて、演劇文化を中心に大学と社会との新たな連携を構築するきっかけにしたいと考えています。

日時：9月15日(日) 14:00～（会場13:30）

会場：山形大学文化ホール（小白川キャンパスA10）

料金：1500円（全席自由）

## 3. 農学部公開講座「農学の夕べ」のご案内

総合科学である「農学」について、農学部で行われている最先端の研究を様々な分野からわかりやすく解説します。

日時：10月3日・10日・17日・24日・31日（いずれも木曜日）の全5回

会場：山形大学鶴岡キャンパス 農学部3号館1階102講義室

対象：一般市民・大学生・高校生

受講料：無料

## 4. 化学系学協会東北大会を山形大学で開催

～最先端の化学に触れる2日間、高校生も参加可能～

無機・分析等の11の専門分野での講演会や、3名の世界的研究者による特別講演会等を行うほか、約300件のポスター発表の中には、高校生の化学研究のポスター発表もあります。高校生は無料で登録して学会に参加することができます。（当日会場での登録。一般や小中高校教員は有料）

開催日：9月21日(土)～22日(日)

会場：小白川キャンパス

## 5. やまがた夜話の開催について

大学コンソーシアムやまがたでは、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方からお話ししていただく「やまがた夜話」を開催しています。

10月のテーマは「仏教とはなんだろう」。松尾剛次名誉教授が、4回にわたってお話します。

※裏面へ続く

**※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント**

◎ **高校生対象『生物の多様性を考える－土壌微生物・植物・昆虫間の相互作用－』**

日 時：9月28日(土) 9:00～15:15

会 場：山形大学鶴岡キャンパス 農学部3号館401講義室

対 象：高校生／定員20名

申込み：9月13日(金)まで ※定員になり次第終了

◎ **“日本物理学会 市民科学講演会”**

**～どこまでわかっているの？スーパーサイエンティストに聞く最新の宇宙の姿～**

9月に小白川キャンパスで開催される日本物理学会（秋季大会）にあわせて、一般向けに講演会を開催します。

日 時：9月21日（土）13:00～15:40

会 場：山形テルサ テルサホール

対 象：一般市民、中学生、高校生、大学生

令和元年（2019年）9月5日

## 「山形大学あらびきウインナー」 が山形県知事賞を受賞 ～農学部が取組む寄附講座の成果品が受賞～

### 【本件のポイント】

- 「山形大学あらびきウインナー」が「やまがたふるさと食品コンクール」において山形県知事賞を受賞。
- 農学部では2016年度から寄附講座「食料自給圏（スマート・テロワール）形成講座」に取り組んでおり、その成果品の一つが「山形大学あらびきウインナー」です。
- 畜肉加工品に続き、ダイズやコムギ、ジャガイモなどを原材料とした美味しい加工品を開発中です。



### 【概要】

やまがた食産業クラスター協議会が2019年8月2日に開催した「やまがたふるさと食品コンクール」において、山形大学農学部が中心に取り組んでいる寄附講座「食料自給圏（スマート・テロワール）形成講座」の成果品の一つである「山形大学あらびきウインナー」が山形県知事賞を受賞しました（2019年8月21日発表）。このコンクールは山形県産の農林水産物を主な原料として製造された食品の優良事例を顕彰するもので、米、豆・そば類、果実、野菜・山菜・きのこ類、畜・水産物の5つの部門において「食味」、「販売価格」、「コンセプト」、「山形らしさ」、「外観・パッケージ」、「加工製造の独自性」等を総合的に審査して各賞を決定するコンクールです。「山形大学あらびきウインナー」は、特に「食味」、「販売価格」、「コンセプト」、「山形らしさ」で高く評価され、畜・水産物部門の最優秀賞を受賞し、さらに5部門の最優秀賞受賞食品から、特に優れていると認められ、山形県知事賞を併せて受賞しました。

### 【背景】

農学部では庄内地域の農家と一緒に家畜堆肥を活用した加工用農産物の生産と、その規格外品を利用した豚の肥育を行い、さらに地域の加工メーカーやスーパーとも連携して、おいしい加工食品を地域の皆さまに提供する取り組みを行っています。この取り組みが「スマート・テロワール」であり、農学部のある庄内地域に食料自給圏を形成することを目的としています。

### 【研究手法・研究成果】

本商品は農学部附属高坂農場や地元の農家が連携して、家畜の堆肥を活用して加工用のジャガイモやコムギ、ダイズなどを栽培し、その規格外品をエサとして育てた豚肉を利用しています（循環型農業）。輸入豚肉が中心の畜肉加工品の現状において、特に庄内産豚肉を利用しているだけでなく、庄内産のエサを利用して育てた豚肉を利用し、しかも、庄内で加工し、庄内で販売するというオール庄内産の商品です。また、美味しさのこだわりとして、最も人気の高いNB商品と比較した消費者の試食アンケートを実施し、同等以上の評価が得られるまで改良を繰り返して開発してきました。そのため、本商品は専門の官能評価員からも非常に高い評価が得られています。

### 【今後の展望】

ウインナーなどの畜肉加工品に続き、庄内産のダイズやコムギ、ジャガイモの中から厳選した素材を利用したおいしい加工食品を開発し、庄内地域の皆さまに提供するための取り組みを一層、進めていきます。

お問い合わせ  
学術研究院教授（農学部附属やまがたフィールド科学センター担当）浦川 修司  
TEL 0235-24-2281 メール urakawa3513@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

【「山形大学あらびきウインナー」の供給体制（地元農家や加工メーカー・スーパーとの連携）】



- ・鶴岡市と酒田市の2店舗に商品を納品（2回/月、1頭分/1回/1店舗）
- ・各商品の小売価格は約300円/パック（ウインナー：200g/パック、ロースハム：72g/パック、ベーコン：80g/パック）
- ・2018年度の販売合計数量は約15,000パック

※用語解説 ※「スマート・テロワール」

カルビー株式会社元相談役・故松尾雅彦氏が著書の中で提唱しているもので、英語のスマート（洗練された）にフランス語の「terre（テラ）」から派生したテロワールを組合せた造語。特にテロワールとは、土壌や気象を含めた総合的な生育環境のことで、独自の気候風土を共有する地域環境を表しています。本講座では畑作と畜産の連携を図って農畜産物を生産し（耕畜連携）、さらに加工業者と連携して厳選素材を利用した加工食品を製造し（農工連携）、地域内で販売（工商連携）・消費することで（地消地産）、全てを地域内で完結できる循環型の経済圏を形成することを目的としています。

【受賞コメント】（農学部附属やまがたフィールド科学センター担当 浦川 修司）

評価基準の中で、特に「食味」、「コンセプト」で高い評価を頂いたことは、農学部が取組む食料自給圏「スマート・テロワール」構想に対するご理解が得られたためと思っております。また、今回の受賞が構想の実現に向けて大きな弾みにもなり、大変、感謝しております。今後、さらに美味しい加工食品を地域の皆さまへご提供できるように、農学部における研究や実証実験を加速化していきます。



令和元年（2019年）9月5日

## 井上ひさし作『父と暮せば』を文化ホールで上演します

### 【本件のポイント】

- 川西町演劇研究会主催による『父と暮せば』（井上ひさし作）上演。
- 会場となる山形大学文化ホールを学外の劇団が使用するのは初めてであり、ここから新たな社会と文化の繋がりを構築することが期待される。
- 川西町演劇研究会は日本全国で演劇公演を行っている評価の高い劇団である。本上演を通じて山形大生の教育に資するのはもちろんのこと、多くの山形市民と芝居を通じた交流を図る。



### 【概要】

川西町出身の作家井上ひさしの有名作『父と暮せば』の上演が、川西町演劇研究会主催により山形大学文化ホールで行われる。本企画は学術研究院准教授（人文社会科学部ドイツ文化・演劇担当）の摂津隆信が、川西町演劇研究会の古川孝に上演を依頼したことで実現した。山形大学文化ホールを学外の演劇公演のために使用するのは初めてである。

『父と暮せば』は原爆投下後の広島を舞台にした二人芝居で、1995年には読売演劇大賞優秀作品賞を受賞している。川西町演劇研究会はこの作品を県内外のホールや小中高校で77回公演しており、その評価も高い。主演の古川は俳優、落語家、ラジオパーソナリティなどで幅広く活躍しているばかりでなく、平成30年には文化庁芸術祭演劇部門優秀賞を受賞している。娘役の鶴英里子は今年4月に劇団「忒十壺鶴堂（にじゅういっかくどう）」を立ち上げ、ピアノ講師をしながら舞台女優や振付師としても活躍する新進気鋭の芸術家である。

本上演を山形大学の学生たちに幅広く観劇してもらうことで、戦争と平和、原爆被害の実態とそのトラウマを克服しようと努力する人間の姿などを学んでもらうと同時に、演劇という生（なま／せい）の芸術を体験してもらうことを目的とする。また、山形大学が誇る文化ホールへ多くの山形市民にも足を運んでいただいて、演劇文化を中心に大学と社会との新たな連携を構築するきっかけにしたいと考えている。

### 【日時・場所】

令和元年9月15日（日） 開場13:30、開演14:00  
山形大学文化ホール

### 【料金】

1500円（全席自由）

### 【出演】

古川 孝  
鶴 英里子

### 【主催】

川西町演劇研究会

お問い合わせ

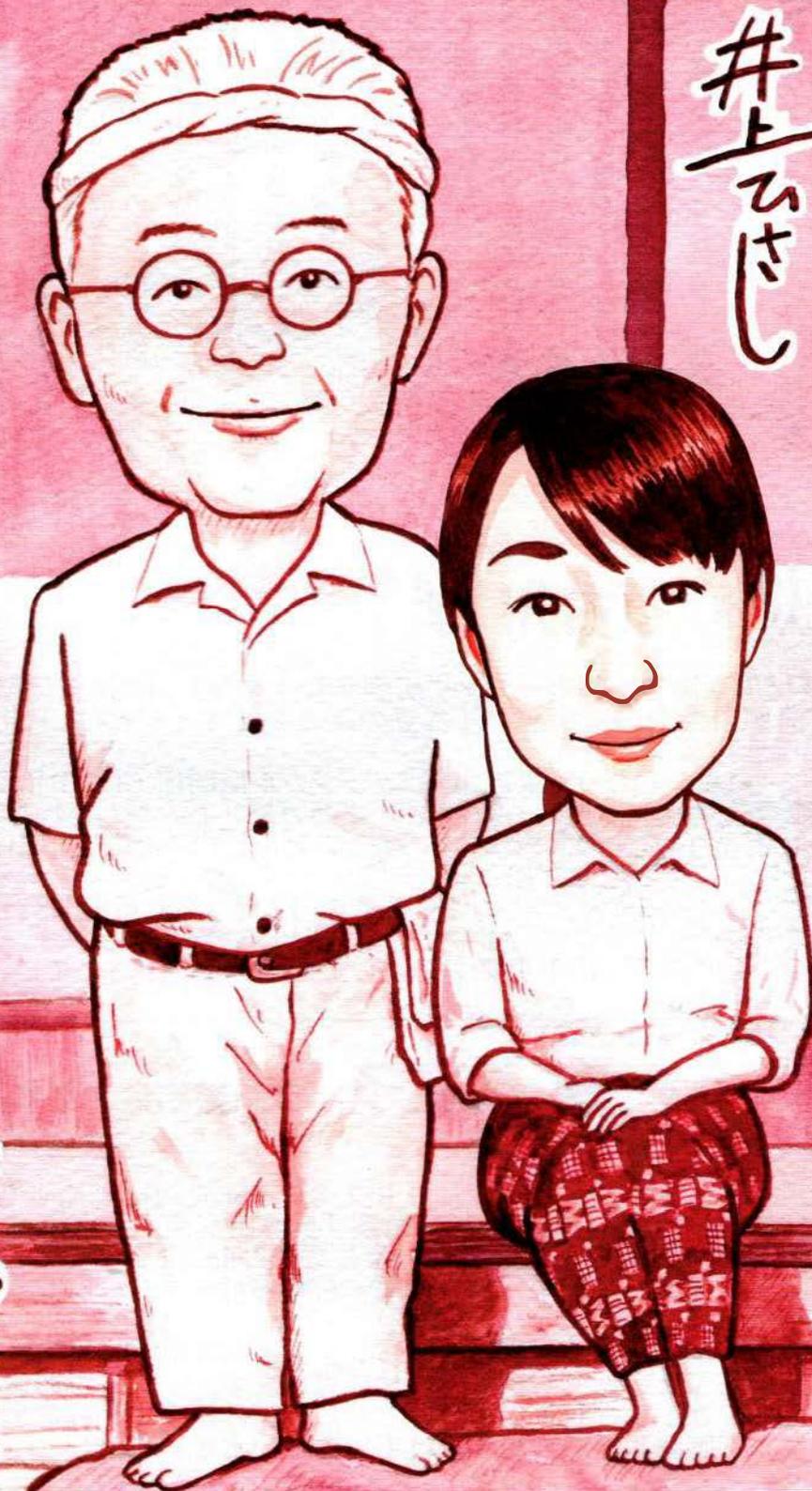
学術研究院准教授（ドイツ文化・演劇担当）摂津隆信

TEL 023-628-4240 メール stansetz@human.kj.yamagata-u.ac.jp

# 父と暮せば

井上さじ

川西町演劇研究会



父・竹造役 古川 孝



四代目 美津江役 鶴英里子

おとったん、  
ありがとありました

令和元年 9月15日(日) 開場13:30 開演14:00  
山形大学文化ホール 料金:1500円

出演: 古川 孝 鶴 英里子

主催:川西町演劇研究会

お問合せTEL:0238-43-7773(古川) 090-4636-7193(古川)

# 父と暮せば

井上ひさし

昭和二十三年の広島。

福吉美津江の自宅。

美津江は、父・竹造と二人で暮らしている。

ただし、その竹造は原爆の衝撃を受けて

死亡したはずなのだが、

ある時再び美津江の前に現れたのである。

でも、美津江には特に

動じたり怯えるようなそぶりはない。

美津江は明るく快活だが、

心の奥では原爆投下を

生き残ってしまったことへの

罪悪感をもっており、

勤め先である図書館で

原爆の資料を集める木下という青年から

好意を寄せられているものの、死者への

申し訳なさから親密になれないでいる。

竹造は、美津江の日々の話し相手として、

彼女を楽しませ、ときに論し、助言を与える。

美津江は、木下から故郷の岩手に

一緒に行こうと誘われたと竹造に告げる。

竹造は、それは結婚の申し込みで、

ぜひ行くべきだと言うが、

美津江はまたも逃げようとする。

そして、父と娘の

最後の会話が始まるのだった・・・

## 父・竹造役 古川 孝



2000年に川西町フレンドリープラザ演劇学校を卒業し、国民文化祭「わが町」に出演。川西町演劇研究会の主宰として「真昼の夜の夢」「オイディプス王」「ばらばら」「銀河鉄道の夜」などの公演を行う。

2010年から4年にわたって米沢市民ミュージカル伝国座で「Faith」の主演を務める傍ら、映画「エクレール～お菓子放浪記」「オ乃ガワ」「私を愛した物体」「お婆さんの反乱」「父さんの花笠」子どものためのオペラ「ヘンデルとグレート」に出演。映画「いしゃ先生」ではメインキャストとして出演。

平成30年度文化庁芸術祭演劇部門優秀賞を「12人の怒れる男」舞台出演にて受賞。また地域アマチュア落語家「おきらく亭金遊」としてテレビ、ラジオ、シニアサロン落語会にて精力的に活躍、山形県内のみならず全国公演活動をしている。

## 四代目美津江役 鶴 英里子 式十壺鶴堂・主宰



式十壺鶴堂・鶴ピアノ教室主宰。

山形市民会館自主事業 オフロードウェイ「Songs for a New World」では企画・演出。2019年4月 式十壺鶴堂旗揚げ公演「県立山形式十壺高校 定時制」を企画・演出・出演。2020年3月シベールアリーナにて第2回公演予定。

現在、ピアノ講師をしながら舞台女優・合唱振付・ステージングなど様々なジャンルで活動中。

井上ひさし先生の台本は本当に素晴らしく、この作品に出会い、美津江を演じる機会に恵まれたことをとても嬉しく幸せに思います。一つ一つの言葉・心の動きを大切に、そして井上ひさし先生の思いと共に後世に伝えていけるよう、たくさんの方々のご縁に感謝しながら演じ続けていきたいと思っています。

主催：川西町演劇研究会

作／井上ひさし 出演／古川 孝／鶴 英里子

お問合せTEL 0238-43-7773 090-4636-7193 (古川)

令和元年（2019年）9月5日

## 農学部公開講座「農学の夕べ」のご案内

### 【本件のポイント】

- 総合科学である「農学」について、農学部で行われている最先端の研究を様々な分野からわかりやすく解説します。
- 10月3日から31日まで（全5回）毎週木曜午後6時より開催します。
- 事前申込不要・受講料無料です。興味のある方はどなたでもお好きな回にご参加いただけます。



### 【概要】

農学とは、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした総合科学です。本講座では、さまざまな分野からのアプローチで農学について紹介し、「農学」が総合科学であることを感じていただくとともに、その最新の研究についてわかりやすく解説します。また、農学が、今世紀における人类的課題と言われる人口・食料・環境・エネルギー問題にどのように挑み、貢献しているのかをご紹介します。10月3日～31日まで（全5回）毎週木曜午後6時より座学形式で開催します。事前申込・受講料は不要です。興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

- ◆日 時：令和元年10月3日・10日・17日・24日・31日（いずれも木曜日）  
18:00～19:30
- ◆場 所：農学部3号館1階102講義室
- ◆対 象：一般市民・大学生・高校生
- ◆受講料：無料
- ◆申 込：不要

### 【講義内容】

- |                 |                             |      |       |
|-----------------|-----------------------------|------|-------|
| <第1回> 10月3日（木）  | 「『タマゴ』の世界へようこそ」             | 教授   | 堀口 健一 |
| <第2回> 10月10日（木） | 「地域定住農業者育成事業の現段階」           | 教授   | 小沢 互  |
| <第3回> 10月17日（木） | 「江戸以前の御来光について」              | 客員教授 | 前田 直己 |
| <第4回> 10月24日（木） | 「ICT技術を活用した近未来の稲作生産システムの開発」 | 教授   | 藤井 弘志 |
| <第5回> 10月31日（木） | 「キメラのはなし」                   | 助教   | 鍋島 朋之 |

お問い合わせ  
鶴岡キャンパス事務部総務課企画広報室  
TEL 0235-28-2911 メール nosenken@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

令和元年（2019年）9月5日

## 化学系学協会東北大会を山形大学で開催 ～最先端の化学に触れる2日間、高校生も参加可能～

### 【本件のポイント】

- 日本化学会が中心となって化学系学協会の東北大会が小白川キャンパスで9月21・22日の両日に開催されます。
- 化学の専門分野の研究発表に加え、300件近いポスター発表の中には、高校生の化学研究のポスター発表もあります。
- 一般5000円、小中高教員は3000円、高校生・高専生・学部生は無料で当日登録をして、学会に参加できます。受付本部に直接おいでください。



ポスター会場の様子（平成29年度東北大会）

### 【概要】

化学系学協会の東北大会が、化学系の教員（大会実行委員長：鶴浦啓教授）により、山形大学小白川キャンパスを会場として、9月21日・22日に開催されます。

このイベントは、公益社団法人日本化学会東北支部が主催となり、高分子学会、日本分析化学会、化学工学会、有機合成化学協会、電気化学会、日本材料学会、繊維学会、無機マテリアル学会、分子科学会など化学関係の複数の学会の東北支部等が共催で実施するものです。無機・分析等の11の専門分野での講演会や、3名の世界的研究者による特別講演会、約300件のポスター発表から構成されています。高等学校文化連盟全国自然科学専門部の協賛により高校生の科学部の発表も行われます。小中高校教員のほか、高校生や一般の方も参加が可能です。

### 【特別講演】

世界的研究者による特別講演を予定しています。

京都大学化学研究所の辻井敬亘先生：「濃厚ポリマーブラシのソフト&レジリエント・トライボロジー」

日本化学会の川合眞紀会長：「分野融合・異分野協力で化学に新しい感性を - 世界の化学会を目指して -」

東京大学特別栄誉教授・東京理科大学前学長の藤島昭先生：「光触媒の最先端」

### 【ポスター発表】

小白川キャンパスの体育館を会場にポスター発表会を開催します。二日間で約300件の発表です。最先端の研究が報告されます。高校生の科学部の発表もあります。

### 【高校生へ】

昨年からはまった高校での探究活動のねたさがし、研究のまとめ方とその発表方法を学ぶことができます。大会関係者も多く高校生・一般の方に参加していただきたいと考えております。

### 【詳細】

以下のサイトでプログラムについて掲載しております。

<https://tohoku.chemistry.or.jp/taikai.html>

#### お問い合わせ

学術研究院 教授 松井淳（理学部担当）

TEL 023-628-4769 メール [jun\\_m@sci.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:jun_m@sci.kj.yamagata-u.ac.jp)

FAX 023-628-4510(事務室)

令和元年(2019年)

# やまがた夜話

## 「日本仏教とはなんだろう」

飛鳥時代に日本に伝来した「仏教」。その仏教が日本でどのように発展していったのか。日本仏教の特徴についてご専門である山形大学名誉教授 松尾剛次 先生から話をさせていただきます。



鑑真像

- 10月 2日(水) 「仏教とはなんだろう」
- 10月16日(水) 「日本仏教の特徴1  
葬式仏教とはなんだろう」
- 10月23日(水) 「日本仏教の特徴2  
なぜ日本の僧侶は結婚するのだろう」
- 10月30日(水) 「日本仏教の特徴3  
鎌倉新仏教とはなんだろう」

※時間はすべて18:30 ~ 19:30です。



講師: 松尾 剛次 氏 (山形大学名誉教授)

会場

ゆうキャンパス・ステーション  
(山形むらきさわビル1階)

アクセス

山形駅東口より徒歩1分

対象

高校生・学生・一般市民

申し込み

事前に裏面の参加申込をFax, 郵送するか、必要事項を記入したメールでお申し込みください。

定員: 50名

**入場無料**



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み  
お問合せ

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

Tel: 023-628-4842 Fax: 023-628-4820 E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前々日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 令和元年10月 2日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年10月16日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年10月23日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 令和元年10月30日(水) 講師: 松尾 剛次 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	必須ではございません

・受講申込者が定員を超えた場合には、入場をお断りさせていただく場合がございます。

・この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp